

|                     |   |              |     |           |       |     |      |
|---------------------|---|--------------|-----|-----------|-------|-----|------|
| 学科名                 | 電気電子工学科   |              |     |           |       |     |      |
| 科目名                 | 科学的問題解決法  |              |     |           |       |     |      |
| 科目区分                | 教養教育科目  | 単位数          | 2単位 | 開講時期      | 1年次後期 |     |      |
| 必修・選択の別             | 必修(応用エレクトロニクスコース)/必修(エネルギー・環境コース)/必修(情報通信コース)   |              |     |           |       |     |      |
| 担当者                 | 電気電子工学科全教員  |              |     |           |       |     |      |
| 授業の到達目標<br>(シラバスから) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を用いて、分かりやすいプレゼンテーションができる</li> <li>・他者の報告を聞き、論点をまとめて質問し、説得力のある応答をすることができる</li> <li>・割り当てられた役割分担を果たすことができる</li> <li>・協調的に問題解決に当たることができる</li> </ul>  |              |     |           |       |     |      |
| 日程と内容               | 第1回 チームの理解、プロジェクト1(1)－テーマ設定、役割分担<br>第2回 プロジェクト1(2)－調査活動<br>第3回 プロジェクト1(3)－活動報告<br>第4回 プロジェクト1(4)－報告書、改良点について議論、発表準備<br>第5回 プロジェクト1(5)－発表準備(スライド作成)<br>第6回 プロジェクト1(6)－発表準備(スライド作成)<br>第7回 プロジェクト1(7)－発表会<br>第8回 プロジェクト2(1)－テーマ設定、チームの組織と役割分担、調査活動<br>第9回 プロジェクト2(2)－調査活動<br>第10回 プロジェクト2(3)－活動報告<br>第11回 プロジェクト2(4)－改善点や未来予想図について議論<br>第12回 プロジェクト2(5)－プレゼンテーション作成<br>第13回 プロジェクト2(6)－プレゼンテーション作成・準備<br>第14回 プロジェクト2(7)－プレゼンテーション作成・準備<br>第15回 プロジェクト2(8)－プレゼンテーション(発表会) |              |     |           |       |     |      |
| 成績評価基準              | 定期試験  |              |     | 実技        | 60%   |     |      |
|                     | 臨時試験  |              |     | 部外評価      |       |     |      |
|                     | 報告書・レポート  | 40%          |     | プレゼンテーション |       |     |      |
|                     | 課題<br>演習  |              |     | 計         | 100%  |     |      |
| 授業到達目標の達成度          | プロジェクト発表での評価を見る限り、チームとして授業到達目標は達成していると判断できる。チーム内の個人としては、ばらつきがあるようだが。  |              |     |           |       |     |      |
| 反省点                 | 今年度、学部で検討した新しい授業内容に沿って授業を構成し、実施した。チームとしての活動に重点を置いたが、科学的問題解決法という観点から、データ処理の手法についての学修が必要と思われる。  |              |     |           |       |     |      |
| 来年度の計画              | 今年度の反省点に鑑み、データ処理の手法に関する授業内容を取り入れたい。   |              |     |           |       |     |      |
| 授業評価アンケートに対するコメント   | 学生の不満などは、見受けられないように思う。全項目評価平均4以上、総合評価8.3。自学自習時間が少ないのも、この科目に関しては、特に問題とは思われない。  |              |     |           |       |     |      |
| 履修登録者数              | 59名   | 定期試験<br>受験者数 | 56名 | 合格者数      | 56名   | 合格率 | 100% |